

みずほCustomer Desk Report 2016/10/03号(As of 2016/09/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	101.12
TKY 9:00AM	101.21	1.1220	113.54	0.9661	GBP/USD	1.2965
SYD-NY High	101.80	1.1251	114.14	0.9770	AUD/USD	0.7671
SYD-NY Low	100.75	1.1154	112.61	0.9647		0.7588
NY 5:00 PM	101.42	1.1245	114.00	0.9714		0.7661
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.56/10.98		△25RR	1.090	Yen Call Over	
NY DOW	18,308.15	164.70	債券市場			
NASDAQ	5,312.00	42.85	日本2年債	-0.2870	▲0.2bp	
S&P	2,168.27	17.14	日本10年債	-0.0890	▲0.9bp	
日経平均	16,449.84	▲243.87	米国2年債	0.7619	2.8bp	
TOPIX	1,322.78	▲20.47	米国5年債	1.1492	3.2bp	
シカゴ日経先物	16,595	35.00	米国10年債	1.5944	3.5bp	
ロンドンFT	6,899.33	▲20.09	独10年債	-0.1190	▲0.2bp	
DAX	10,511.02	105.48	英10年債	0.7460	2.4bp	
ハンセン指数	23,297.15	▲442.32	豪10年債	1.9080	▲6.2bp	
上海総合	3,004.70	6.22	為替市況			
USDJPY 3M Vol	11.99	▲0.15%	USD/CNH	6.6770	0.0059	
USDJPY 6M Vol	11.53	▲0.08%	ドルインデックス	95.46	▲0.07	
EURJPY 3M Vol	12.40	0.19%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	12.27	0.12%	CRB指数	186.316	0.49	
			NY金	1,317.100	▲8.90	
			WTI	48.240	0.41	
			Dubai Spot	45.37	0.21	

東京	東京時間オープン前に発表された本邦8月コアCPI(前期比・年率)が+0.2%と市場予想通りの数字にマーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は101.21レベルでオープン。前日海外時間にリスクセンチメントが後退した流れを受け、日経平均株価が200円超下落して寄り付くと、月末絡みの円転フーなどもあったと見られ、仲値にかけてドル円は下落する展開。屋にかけて101円を割り込む場面が見られたものの、正午付近には特段材料がない中でドル円は突如として上昇し始め、一時101.80を付けた。しかしその流れは続かず、すぐに押し戻される格好となると、再度101円割れまで反落した。その間には衆議院予算委員会に出席していた黒田日銀総裁より「緩和策からの出口戦略、いろいろな議論をしている」などの発言が見られたものの、マーケットへの影響は限られたものとなり、下落基調の地合いが続く中、100.75まで値を下げて100.79レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は朝方100.79レベルでオープン。ロンドン時間序盤から大きくドルが買われる中、独大手銀行に対する懸念が引き続き意識され前日比マイナスでオープンしていた欧州株が、その後徐々に回復するとクロス円も底堅く推移。こうした動きを背景として、ドル円は100円台後半から101円台前半まで上昇し、101.32レベルでNYへ渡った。前述のロンドン時間序盤のドル買いを受け、ユーロドルはアジア時間中の下値を抜けると一段と続落し、1.12台前半から短時間で安値1.1154まで下落。その後もドルの底堅さが継続され、1.1161レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は101.32でNYオープン。朝方発表された米8月PCEコア(前年比)は予想の範囲内であったことから、市場への影響は限定的。その後、発表された米9月シカゴ購買部協会景気指数、米9月ミシガン大学消費者マインドが市場予想を上回ったことを受けて、米10年債利回りが上昇するドル円は101.40付近まで上昇。その他には、市場で懸念されていた独大手銀行に対する米司法省の制裁額が140億ドルから54億ドルまで減額され合意に近いとの報道もあり、リスク回避ムードが和らぐ中、大幅高で引けたダウ平均もサポート材料となり、ドル円は101.45まで上昇し、101.42レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1161レベルでオープンするも、このレベルではユーロ買い意欲が高く、また連日下落していた独大手銀行の株価が制裁額減額の観測で急反発したことから、一時1.1251まで上昇し、1.1245レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・西谷

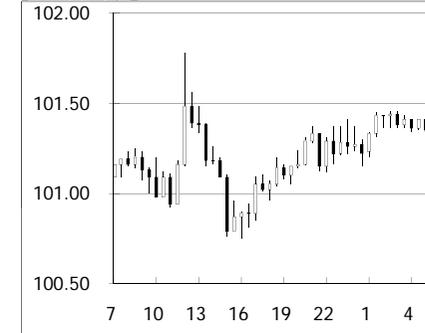
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月30日	8:30	日	全国CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	8月 -0.5%/-0.5%/0.2%
	8:30	日	東京CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	9月 -0.5%/-0.5%/-0.1%
	10:45	中	Caixin製造業PMI	9月 50.1
	15:00	独	小売売上高(前月比/前年比)	8月 -0.4%/3.7%
	17:30	英	GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.7%/2.1%
	18:00	欧	CPI予想/コアCPI(前年比)・速報	9月 0.4%/0.8%
	21:30	米	PCEコア(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.7%
	21:30	加	GDP(前月比)	7月 0.5%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド(確報)	9月 91.2
10月1日	10:00	中	製造業/非製造業PMI	9月 50.4/53.7

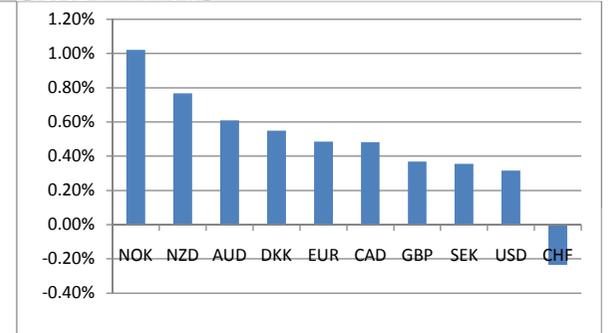
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	8:50	日	日銀短観	3Q -
	16:55	独	マークイット製造業PMI・確定値	9月 54.3
	17:00	欧	マークイット製造業PMI・確定値	9月 52.6
	17:30	英	マークイット製造業PMI・確定値	8月 52.1
	22:45	米	マークイット製造業PMI・確定値	9月 51.4
	23:00	米	ISM製造業景況指数	9月 50.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-102.60	1.1175-1.1300	113.00-115.00

【マーケット・インプレッション】

前週末の海外市場でのドル円はドル買い優勢の展開。住宅ローン担保証券の不正販売を受けて巨額の和解金が米司法省より求められているドイツ銀行だが、和解金の大幅減額で近く合意するとの一報後、同行の経営不安に対する懸念が後退、リスクセンチメントが改善する中、ドルの買い戻しが優勢となった。本日は米国時間にISM製造業景況指数の発表を控える。前回八月份は二月以来半年振りに節目の50を割り込んでおり、続落するようだと利上げ観測の後退から円買いが活発化する可能性には留意の要。